

## CLOSE UP!



## 院内外へより深い取り組みを 『口腔内科・口腔外科』新スタート

### ～「口腔内科」が新設されました～

徳島大学病院では、これまで「第一口腔外科」「第二口腔外科」と分科されてきました。診療内容は、う蝕・歯周病・歯の欠損以外の幅広い口腔疾患を対象とし、外科的治療が主流となっていました。より深く行き届いた医療を目指し、2010年の今年より「口腔外科」「口腔内科」という診療科に変更しました。「口腔内科」は、内科的治療を主とし、全身または心理・社会的側面や背景への視点を持って診療する体制として新たに設置されました。

### ●口腔内科での具体的な診療内容

口腔内科で診療を行う具体的な疾患としては、歯が原因で起こる口の中の「炎症疾患」、原因不明の「難治性口内炎」、単純ヘルペスウイルスなどの「ウイルス感染症」、前癌病変などの「粘膜疾患」、原因不明の舌痛や慢性疼痛・違和感など「歯科心身症」、口が開きにくい開ける時の痛みや雑音がある「顎関節症」、心疾患や血液疾患など「全身疾患を有する患者への抜歯」などの歯科治療です。内科分野に専念することで集中的に時間をかけて、より細やかな治療が可能となります。

### ●外へ向けた取り組みにも力を入れています

また、口腔内科外来・病棟での診察・治療に留まらず、ICU(集中治療室)やSCU(脳卒中集中治療室)などの急性医療施設において、気管内挿管されている患者さんのVAP(人工呼吸器関連肺炎)発症や、介護施設入所者の誤嚥性肺炎の予防を目的として「口腔ケア」を行っています。一生自分の口から食事ができるようにとの目的を持ち、「摂食・嚥下リハビリテーション」にも力を入れていく予定です。さらに、頭頸部癌治療における放射線照射や各種悪性腫瘍での抗がん剤治療によって起こる重い口内炎に対しても、痛みを和らげ取り除く「疼痛緩和ケア」にも取り組んでいます。



説明は、  
徳島大学病院口腔内科 教授  
**東 雅之 あずま まさゆき**  
■問い合わせ  
口腔内科医局 Tel.088-633-7352

### ●連携を図り、 より良い診療の 未来を目指して

新体制以降、院内診療の充実を図るとともに、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション、緩和ケアなど、我々が外へ外向き、積極的な診察・治療を行っていく姿勢です。それに伴い、耳鼻科医、言語聴覚士、看護師、歯科衛生士などの専門職スタッフと統一したケアマニュアルを作成したり、勉強会を行ったり、一層のコミュニケーションや協力を深めるよう努めています。県の構想で、将来的には隣接する県立中央病院との間に連絡橋もできる予定です。その際には、『県立中央病院』の入院患者さんの口腔ケアも積極的に行っていきたいと考えています。